

# Camily

PRODUCED BY **OGK***epiken*

## サイクルトレーラー CT-001S 取扱説明書

この度は当社の製品をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

**取扱い注意事項** この説明書は、ご使用前に必ずお読みください。読まれた後は大切に保管してください。



走行・ご使用の際は、必ず利用者の責任で道路交通法及び各自治体の条例・公安委員会の定める規則の確認と遵守を行ってください。サイクルトレーラーを取付けた自転車は道路交通法で「軽車両」に分類され、車道の左側端を通行しなければなりません。また、道路標識も「軽車両」の指示に従うこととなります。幹線道路の高架など「自転車・リヤカー不可」という標識が掲げられているところは通行できませんので、ご注意ください。

**取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。**

- ご使用前に「使用上のご注意」(1 ページ)を必ずお読みください。
- 品質保証期間は1年です。領収書の「お買い上げ日・販売店名」の記入をよく確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。また、わからないことがあった時は直ぐに確認できるようにしてください。
- 販売店での説明を必ず受けていただき、使い方がわからないときは、販売店にご相談ください。

目次	1. はじめに .....	P1
	2. 使用上のご注意 .....	P1
	3. 使用条件 .....	P2
	4. 適合車種 .....	P2
	5. 主な仕様 .....	P2
	6. 部品構成 .....	P3
	7. 安全上のご注意 .....	P4
	8. 交通ルールとマナー .....	P13
	9. 組立て方・取付け方 .....	P15
	10. スタンドの立て方 .....	P19
	11. サイクルトレーラーの外し方 .....	P20
	12. 使い方 .....	P21
	13. お手入れ方法 .....	P22
	14. チェックシート .....	P23
	15. 品質保証 .....	P24
	16. 補修部品 .....	P26
	ご使用前の確認証 .....	巻末

## 1. はじめに

- 本製品は、ピクニックなどのレジャーや買い物などの日常生活用として設計されています。新聞配達など、業務用として使用しないでください。また、日本国内以外の交通法規には適合していない場合がありますので、ご使用になる前に必ず確認をしてください。
- 万一の事故に備え、賠償責任保険に加入されることをおすすめします。ご契約内容は必ず確認してください。
- 本書に使用しているイラストは操作方法や構造、仕組みなどを分かりやすくするため、現物とは多少異なる場合があります。
- 品質向上・改良の為に予告無く仕様・デザインを変更する場合がありますので予めご了承ください。

### ■他人に譲渡される時のご注意





本製品を他人に譲るときは、本取扱説明書を一緒にお渡しください。ただし、保証につきましては本製品を最初に購入された方にのみ有効です。譲渡された場合には保証は継続されません。

## 2. 使用上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

### ■警告表示

警告表示は危険度・重要度の程度に応じて次の区分で表示しています。これらを守らないと事故につながったり、ケガをしたり、自転車の破損などの原因になります。

 <b>警告</b>	取扱いを誤った時に、使用者が死亡もしくは骨折などの重症を負う可能性が想定される内容です。
 <b>注意</b>	取扱いを誤った時に、使用者が傷害を負う危険が想定される時及び、物的損害の発生が想定される内容です。
 <b>禁止</b>	安全上、してはいけない内容及び行為を表す内容です。
 <b>強制</b>	使用者に必ず実行していただく内容です。

## 3. 使用条件



- 軽車両に分類されるため、普通自動車とは異なった取扱いを受けることとなります。
- 使用・走行の際は、現時点の道路交通法、各自治体の条例及び公安委員会の定める規則等の関連法規を、利用者ご自身で確認してください。また、本製品をご利用の際にご不明な点等ございましたら、必要に応じて警察・地方公共団体等の所轄官庁に照会・確認してください。
- 本製品はサイクルトレーラーです。自転車に取付けて使用する際は、道路交通法上の普通自転車にはあたりません。法令に従った走行をお願いいたします。ご不明な点があれば、最寄りの警察署及び地方公共団体にお問い合わせください。
- 軽車両は、道路交通法上、車道の左側端を通行しなければなりません。歩道は走行できず、例えば「自転車通行可」や「自転車通行帯」と区分されている歩道も走行できません。道路標識も「軽車両」の指示に従い走行してください。
- 荷物の積み過ぎは走行安定性を著しく低下させ危険です。また、はみ出した荷物は歩行者や自動車などに接触する恐れがあり危険です。最大積載荷重を超えたり、積載物がサイクルトレーラーの幅を超えないようにしてください。
- 荷物以外(子どもや動物等)は乗せないでください。

### サイクルトレーラーの積載重量：18kgまで

## 4. 適合車種



次の自転車にはご使用いただけません。  
●カーボン製のシートポスト装着車 ●幼児、子ども車

適合車種(目安)／700C、27.5インチサイズまでのスポーツ車、小径車及びシティ車(婦人車、軽快車)  
シートポスト径／φ33.9mmで真円のもの。  
※φ27.2mmのときは付属のシートポストシムをご使用ください。  
※他のサイズの場合は、市販のシートポストシム(金属製)もご使用いただけます。  
必要に応じてお買い求めください。

### 【速度について】

安全な最高速度は、サイクルトレーラーの負荷、道路状況、交通量、けん引自転車の状態、運転なさる方の経験に依存します。運転なさる方は安全な速度で走行してください。

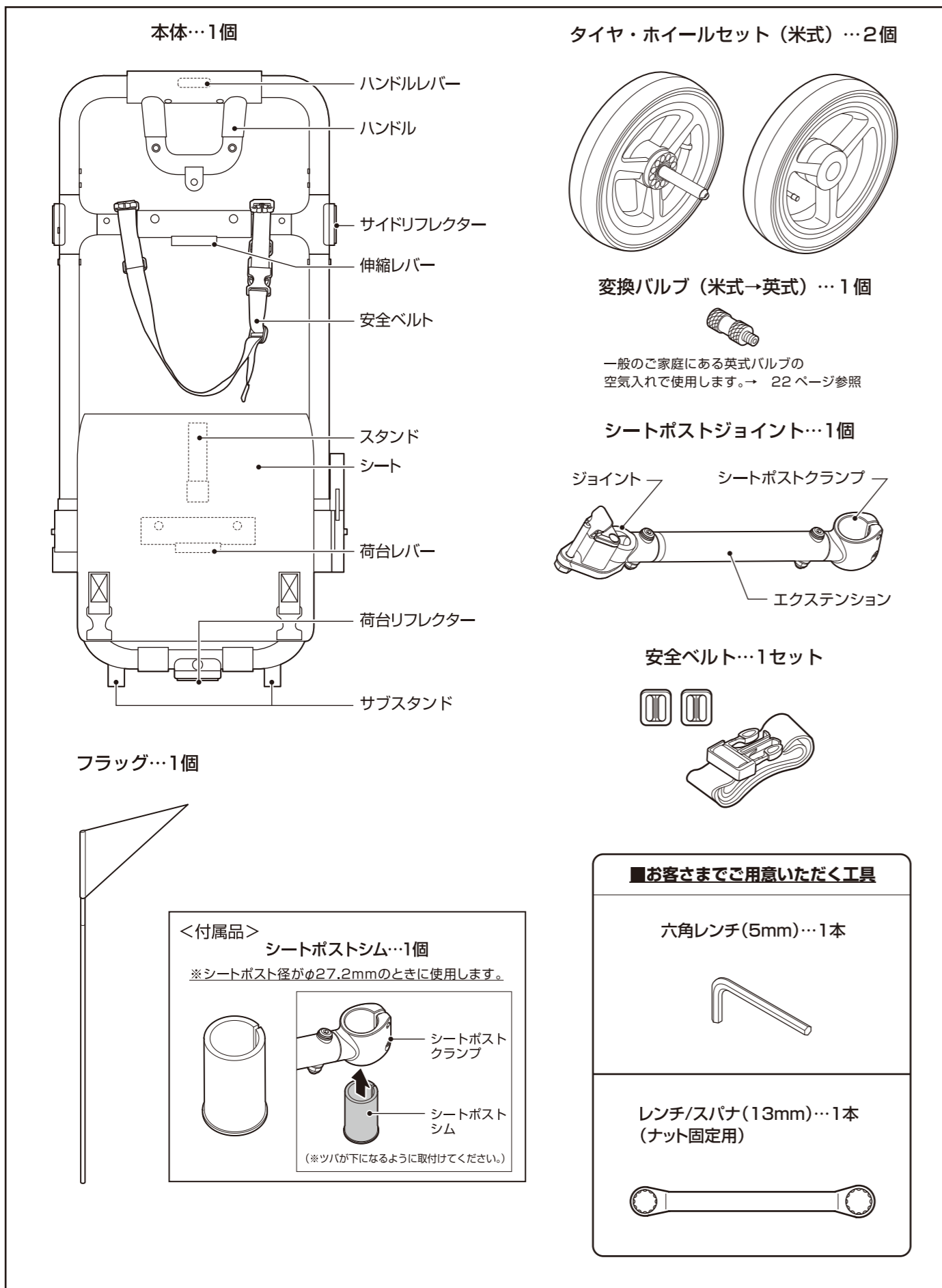
### 【制限速度】

なめらかでまっすぐな道 24km/h まで  
カーブ 8km/h まで

## 5. 主な仕様

本体高さ	850mm～970mm
本体幅	540mm
製品重量	4.8kg
タイヤ	12インチエアータイヤ(米式)
最大積載荷重	18kg

## 6. 部品構成



## 7. 安全上のご注意

### ⚠警告 (安全上のご注意)

使用・走行の際は、現時点の道路交通法、各自治体の条例及び公安委員会の定める規則等の関連法規を、ご自身で確認してください。また、本製品をご利用の際にご不明な点等ございましたら、必要に応じて警察・地方公共団体等の所轄官庁に照会・確認してください。走行時は車道の左側端を通行しなければなりません。道路標識も「軽車両」の指示に従い走行してください。

❗ 強制  
車道を走行する（道路交通法による）

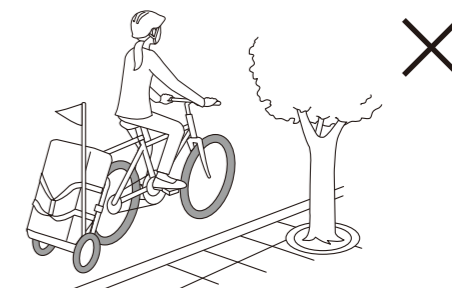
車道の左側端、路側帯を走行してください。

🚫 禁止  
一方通行を逆走しない（道路交通法で禁止）

一方通行ではサイクルトレーラーを取付けた自転車は「自転車を除く」と表示されている場合も適用されません。

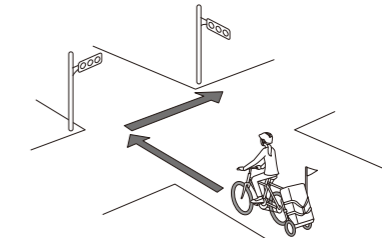
🚫 禁止  
歩道や自転車専用道路を走行しない（道路交通法で禁止）

軽車両は、駐停車や施設等の出入りのため横断する場合等を除き、歩道は走行できず、例えば「自転車通行可」や「自転車通行帯」と区分されている歩道であっても走行できません。なお、本製品を取付けた自転車を押し歩いても、歩行者とみなされることはありませんので、ご注意ください。



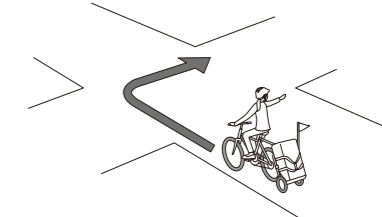
❗ 強制  
交差点での右折の場合には「二段階右折」をする（道路交通法による）

信号のあるところ。



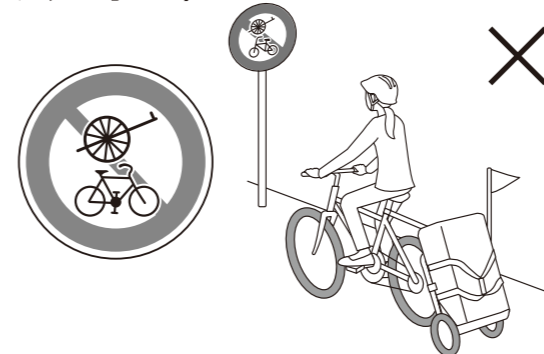
1. 道路の左側端を信号にしたがって、交差点の向こう側まで真っ直ぐ進む。
2. 止まって右に向きを変える。
3. 前方の信号が青になってから進む。

信号がなく交通整理がおこなわれていないところ。



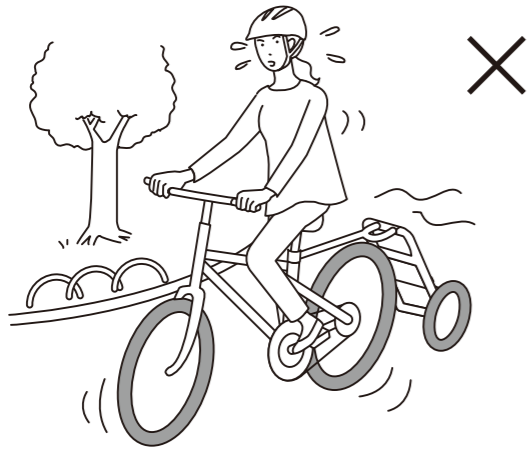
1. 道路の左側端を向こう側まで真っ直ぐ進む。
2. 進行方向へ直角に右へ向きを変える。
3. 進行方向の左側端を進む。

🚫 禁止  
「自転車・リヤカー不可」という標識が掲げられているところでは走行しない（道路交通法で禁止）



禁止 乗り方を充分習得するまでは公道では乗らない

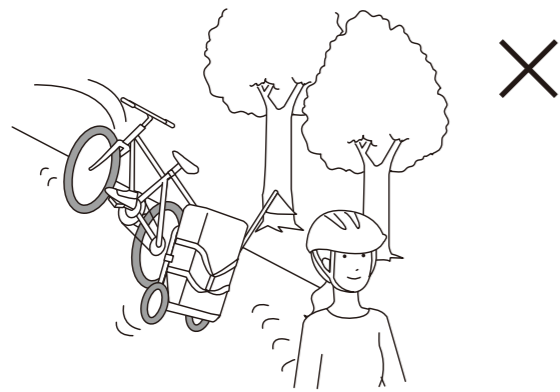
練習は空き地などの安全な場所で周囲の安全を確認してから行ってください。自転車に取付けることで全長が長くなり、車幅も異なります。ポールの間や狭い道を通るときは十分に注意してください。あわせて乗り降りや、取付け、取外しも同様に練習していただき、余裕を持った運転をお願いします。



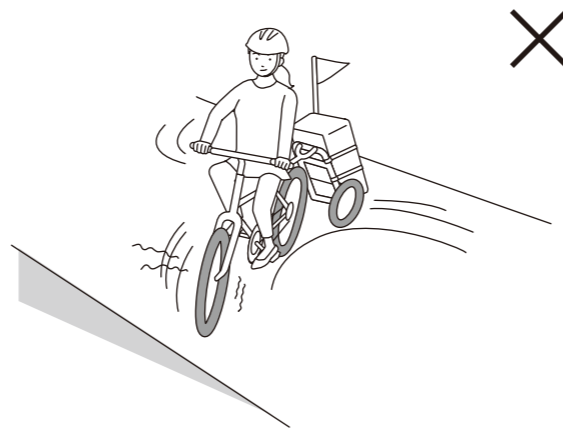
禁止 坂道・斜面・凸凹面では練習しない

慣れるまでは平坦路で練習してください。転倒したり、ケガ・破損や事故の恐れがあり危険です。

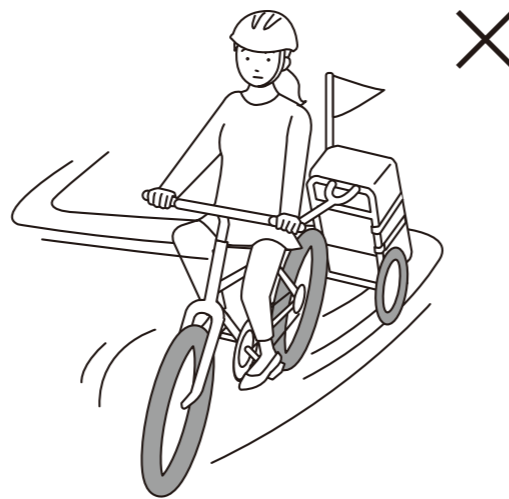
禁止 坂道・斜面に駐輪しない  
自転車転倒する恐れがあります。



禁止 傾斜のあるところで旋回しない  
バランスを崩しやすく、転倒の恐れがあります。



禁止 ジグザグ走行、急旋回はしない  
転倒したり、ケガ・破損や事故の恐れがあり危険です。

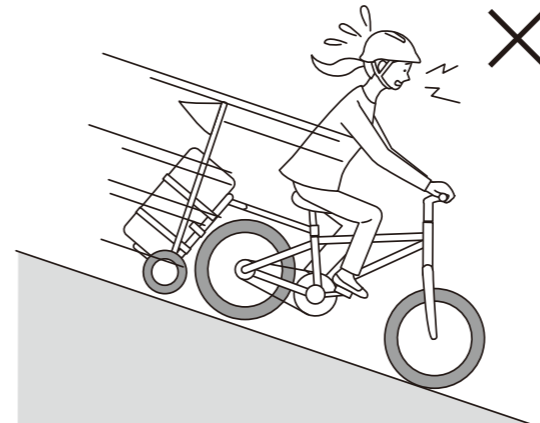


禁止 段差や溝・凸凹の激しい路面では走らない  
サイクルトレーラーが転倒したり、ケガ・破損や事故の恐れがあり危険です。注意しながら押してください。

禁止 次のようなときは特にスピードを出さない

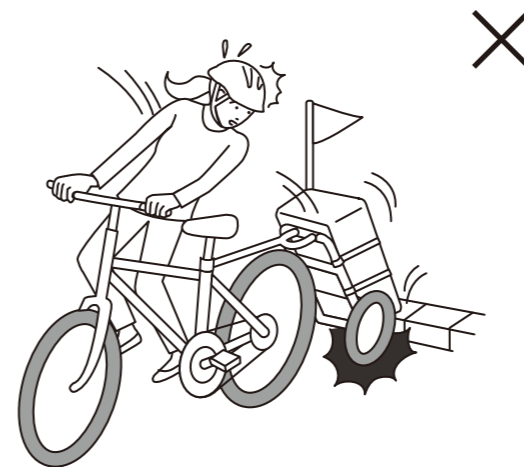
- 片側に傾いている道でハンドルをとられるとき。
- トレーラーが外側に振られてしまうとき。
- 下り坂およびカーブ。
- 凸凹のある路面。
- 雨・風が強い日。
- 段差を乗り越えるとき。

5km/h以下  
(歩く程度)の  
速さで走るか、  
降りて押して  
歩く。

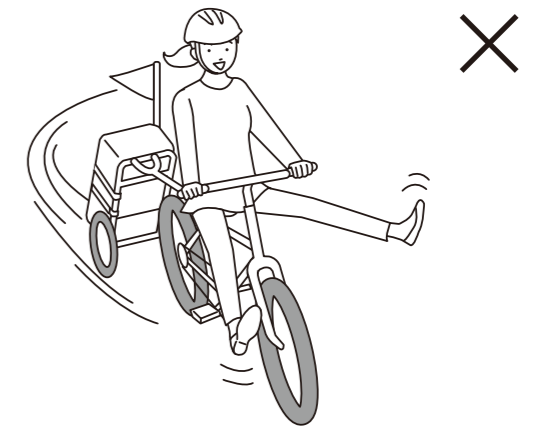
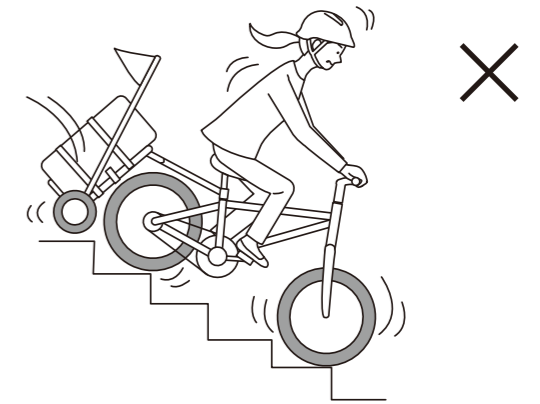


禁止 自転車に取付けた状態で大きな段差を登ったり降りたりしない(自転車から降りて押し歩くこともしない)

バランスをくずして転倒したり、ケガ・破損や事故の恐れがあり危険です。

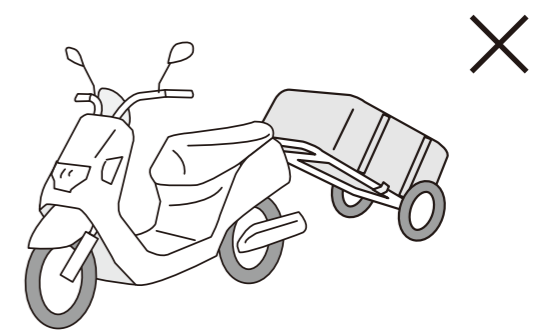


禁止 乱暴な乗り方はしない  
階段や縁石の乗り降り、アクロバティックな乗り方などは、転倒したり、ケガ・破損や事故の恐れがあり危険です。



禁止 自転車以外には取付けない

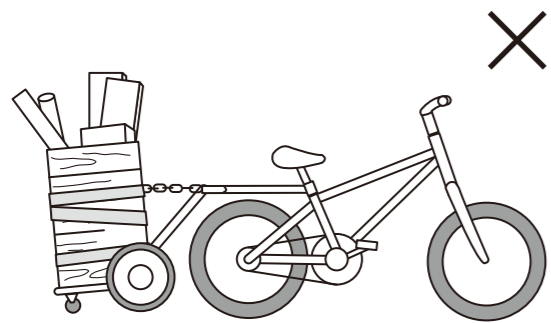
自転車以外へ取付けての使用は想定しておりません。ケガ・破損や事故の恐れがあり危険です。



⚠ 警告 (安全上のご注意)

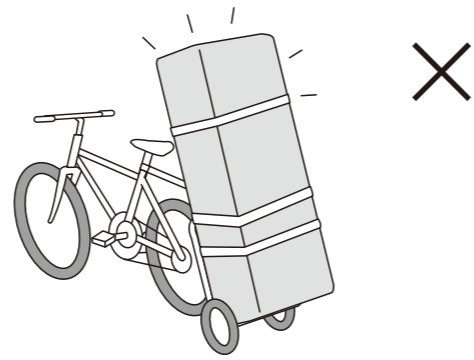
⊘ 改造および指定箇所以外の調整はしない  
禁止

正しく動かなかつたり部品が外れたりして事故・ケガにつながる恐れがあります。また、歩行者に危害を及ぼす恐れのある突出物を装着することは禁止されています。

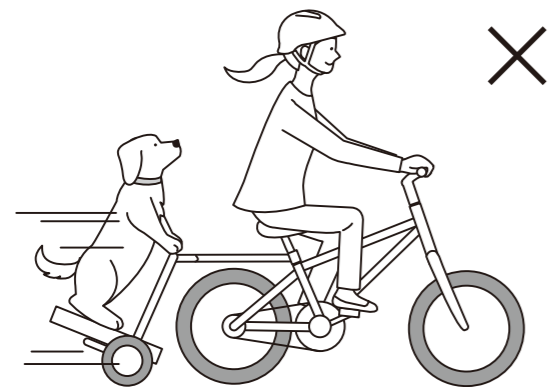


⊘ 最大積載量を超える荷物を載せない  
禁止

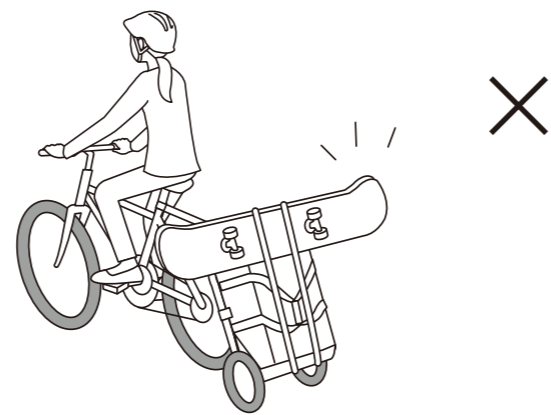
サイクルトレーラーが破損するだけでなく、走行が不安定になったり荷崩れの恐れがあります。



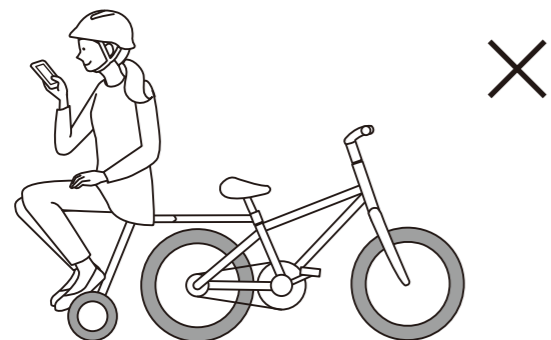
⊘ 人や動物を乗せない  
禁止 ケガ・破損や事故の恐れがあり危険です。



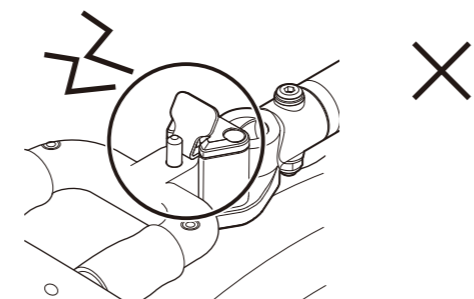
⊘ サイクルトレーラーの幅を超える荷物を載せない  
禁止 走行中に歩行者などと接触し、ケガ・破損や事故の恐れがあり危険です。



⊘ 荷物の運搬以外に使用しない  
禁止 踏み台や椅子の代わりにするなど荷物の運搬以外の目的に使用しないでください。転倒したり、ケガ・破損や事故の恐れがあり危険です。

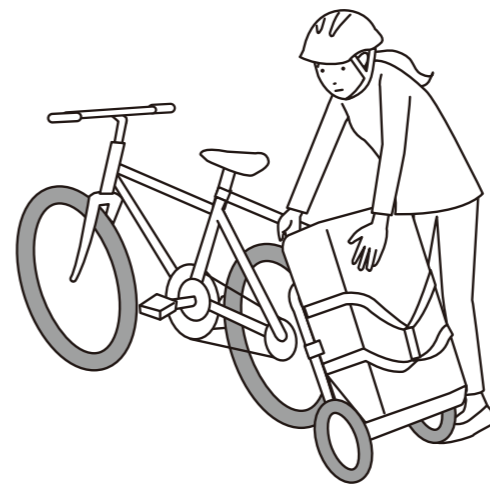


⊘ 連結部の上に荷物を載せない  
禁止 変形したり、ケガ・破損や事故の恐れがあり危険です。



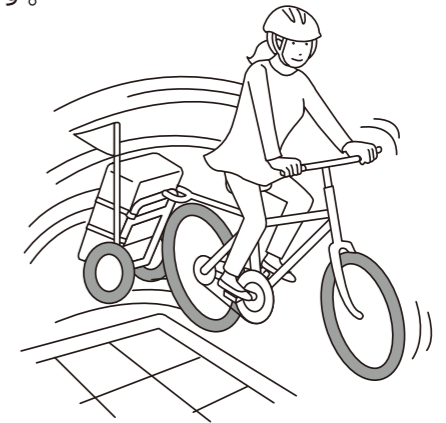
⚠ 警告 (安全上のご注意)

! 運行前に点検する  
強制 安全のためにも必ず実施してください。



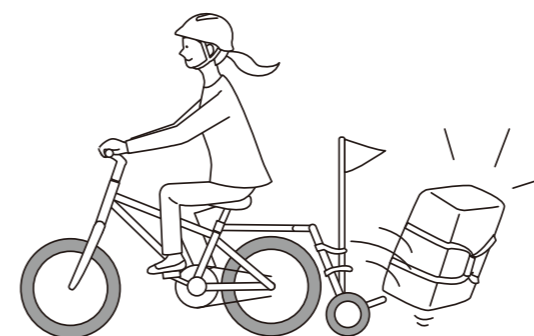
! スピードが出たまま無理に曲がらない  
強制

スピードが出たまま曲がろうとすると回転半径が大きくなったり、転倒したり、ケガ・破損や事故の恐れがあり危険です。また、サイクルトレーラーが外側に振られてしまう場合があります。

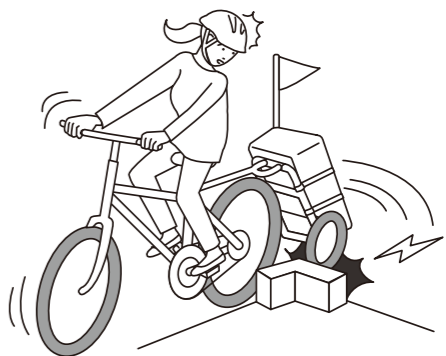


! 荷物はしっかりと固定し、荷重は均等に分配させる  
強制

荷物の固定が不十分であったり荷重が偏っていると、サイクルトレーラーが安定せず、走行が不安定になったり荷崩れの恐れがあります。特に重い荷物は重心が高くないように気をつけましょう。発進前に、荷物がしっかりと固定されているか確認してください。また、走行中に荷物の固定が緩むことがあります。時々停止して確認しましょう。



! 内輪差に注意して曲がる  
強制 普通自転車の感覚で交差点を曲がると脱輪や車輪をぶつけて転倒したり、ケガ・破損や事故の恐れがあり危険です。



! 交差点での停車時は通行人に配慮する  
強制

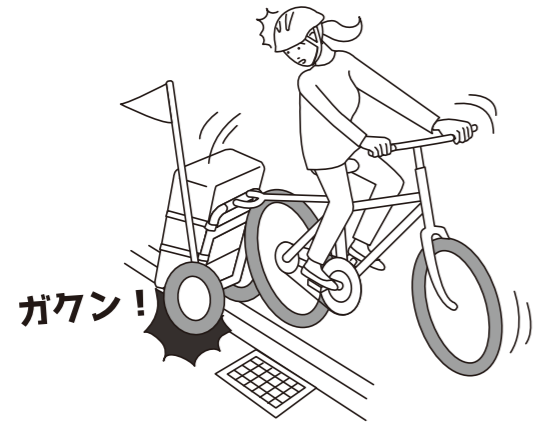
けん引時に交差点で停車すると通行人の通り道をさえぎる恐れがあります。停車時は道路の端によるなど、邪魔にならないように停車してください。

⚠ 警告 (安全上のご注意)

❗ 狭い場所や、段差を横切るときは注意する

強制

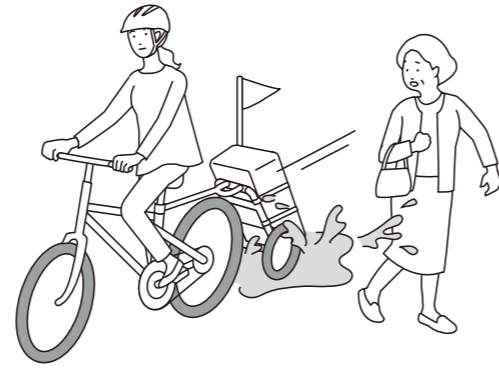
脱輪や車輪をぶつけて転倒したり、ケガ・破損や事故の恐れがあり危険です。



❗ 水たまりやぬかるみを走行するときは注意する

強制

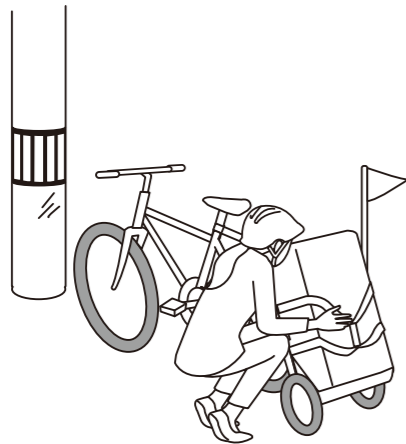
サイクルトレーラーと自転車から水や泥を巻き上げます。荷物が汚れるだけでなく周囲の人にも注意しましょう。



❗ 転倒したり、障害物などにぶつかった時は点検する

強制

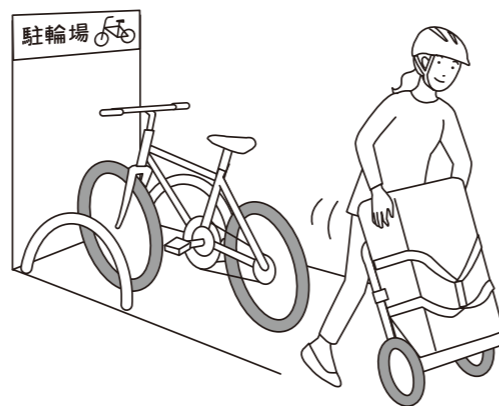
強い衝撃を受けた時は必ず点検してください。



❗ 後退時はサイクルトレーラーを外す

強制

けん引をしたままの後退は出来ません。駐輪場からの出し入れなど後退が必要な場合は、一度自転車から取り外し自転車を移動してから取付け走行してください。



❗ ブレーキは早めにかける

強制

けん引時は自転車の制動性が悪くなります。普段より早めにブレーキをかけてください。

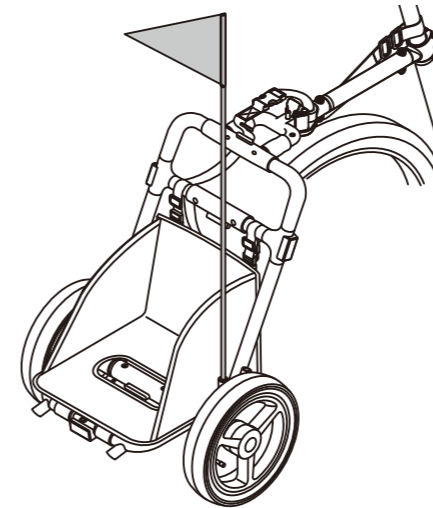


⚠ 警告 (安全上のご注意)

❗ 走行時はフラッグを取付ける

強制

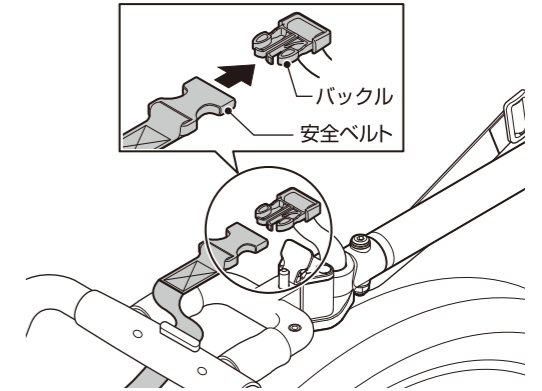
付属のフラッグを立てて走行してください。自動車のドライバーからサイクルトレーラーが見えない危険性があります。フラッグを立てて存在をアピールするようにしてください。



❗ 安全ベルトは必ず取付ける

強制

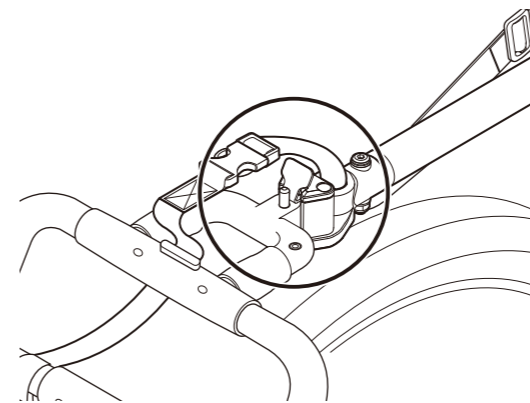
安全ベルトは万一連結部が破損して分離した際にサイクルトレーラーの落下を防止するものです。安全のためにも必ずご使用ください。



❗ 運行前に連結部のロックを確認する

強制

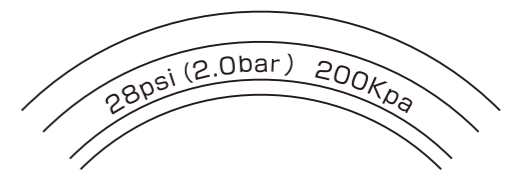
連結部とサイクルトレーラーがきちんとつながっているか確認してください。走行中にケガ・破損や事故の恐れがあり危険です。



❗ タイヤの空気圧は28psi(2.0 bar)を超えない

強制

空気圧が高すぎると跳ねて壊れたり、バーストの恐れがあります。反対に空気圧が低いとパンクしやすく、タイヤの摩耗が早くなります。



❗ 連結部に指を挟まないように注意する

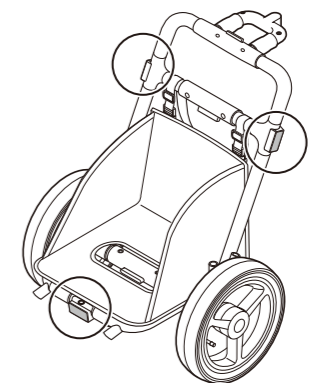
強制

連結部とサイクルトレーラーの間に指を置かないようにしてください。ケガや事故の恐れがあり危険です。

❗ リフレクタ(反射板)は必ず見えるようにする

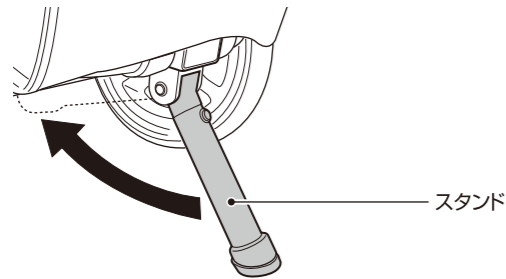
強制

必ず装着されており、後方と側面からよく見えるようにしてください。汚れや割れがあるときは速やかに交換してください。



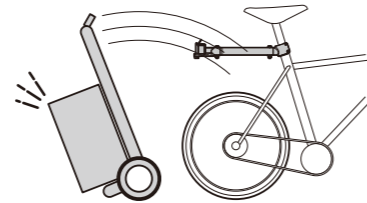
**!** けん引時には必ずスタンドを  
強制 収納する

段差に引っかかって転倒したり、ケガ・破損  
や事故の恐れがあり危険です。



**!** 本体を連結部から外すときは  
強制 周囲に注意する

後方に転倒してケガ・破損や事故の恐れが  
あり危険です。



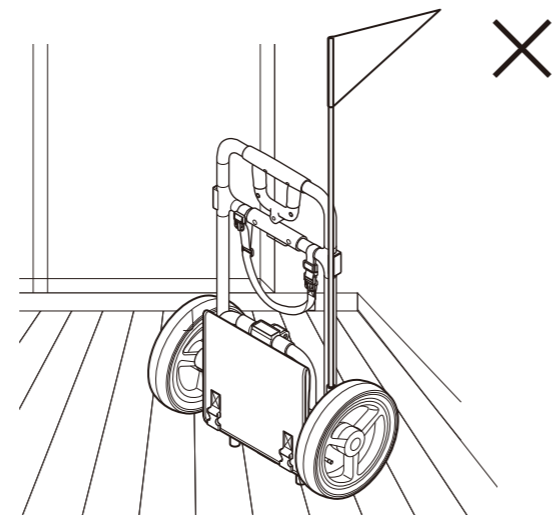
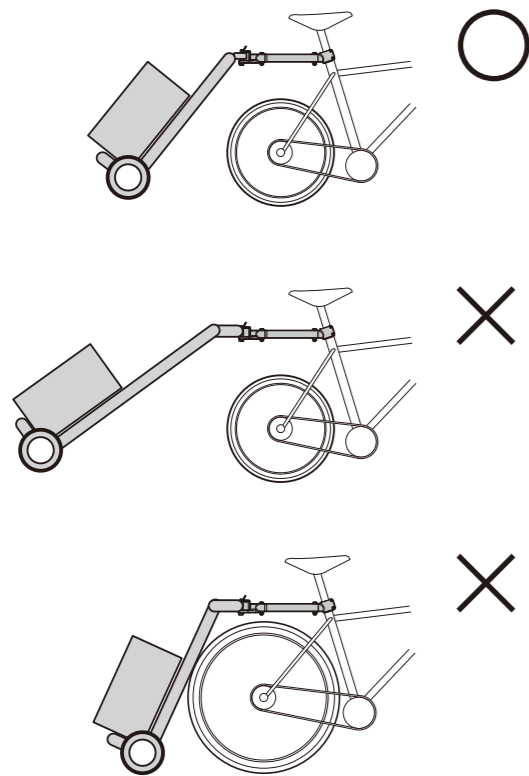
**!** サイクルトレーラーのハンドルの  
強制 長さは、シートポストジョイント  
の取付け高さに合うよう調節  
する

伸ばしたままや短いままで使用すると走行に  
支障が出るだけでなく、ケガ・破損や事故の恐  
れがあり危険です。

→ 18ページ参照

**!** フローリングやクッションフロ  
強制 ア、タイルなどの上に直接置か  
ない

タイヤのゴムには、硫黄や油分などが配合さ  
れており、この成分がフローリングなどの表  
面の塗膜と化学反応を起こしてタイヤの色  
がフローリングなどに移ってしまうことが  
あります。



**!** 交通ルールを守る

強制 交通ルールを守らないとケガ・破損や事故  
の恐れがあり危険です。他の人にケガを負  
わせる恐れもあります。

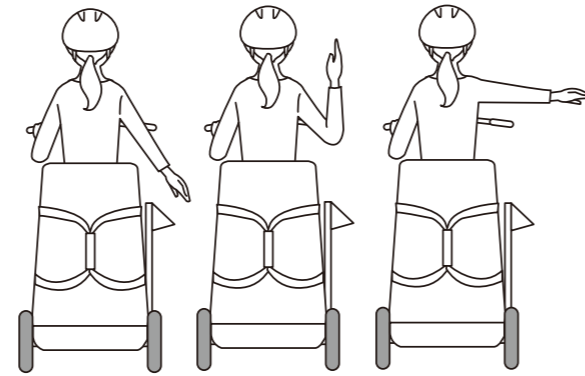
## 8. 交通ルールとマナー

**ケガや、迷惑をかけないためにも、交通ルールやマナーを守りましょう。**

走行・ご使用の際は、必ず利用者の責任で道路交通法及び各自治体の条例・公安委員会の定める規則の確認と遵守を行ってください。サイクルトレーラーを取付けた自転車は、道路交通法上の普通自転車にはあたりません。ここに掲載していることは、交通ルールとマナーの一部です。ご不明な点があれば、最寄りの警察署及び地方公共団体にお問い合わせください。

### 1. 正しい乗り方

- 発進するときは、見通しのきく道路の左側端で、後方と前方の安全を確かめる。
- 進路変更、右左折などの際には手信号による進路変更の合図を出す。
- 停止するときは、安全を確かめて停止の合図を行い、道路の左側端に沿って停止する。



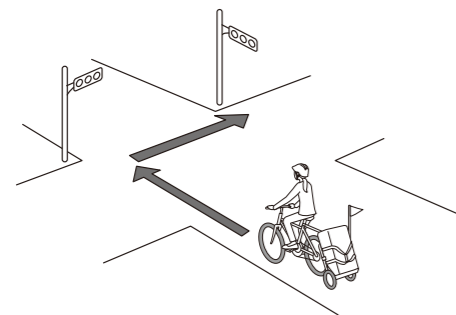
停止 左折 右折

### 2. サイクルトレーラーを取付けたときに通るところ

- 軽車両になるので、車道を走行する。信号も自動車の信号にしたがう。
- 車道を走行するときは、車道の左側端に沿って走行する。なお、車道の左側端の路線が自転車専用通行帯となっている場合も同通行帯を走行する。
- 路側帯を通ることができるが、歩行者の通行に大きな妨げになるところや、白二本線の表示のあるところは通らない。
- 駐停車や施設等の出入りのため横断する場合等を除き、歩道は走行しない。(押し歩きをしている場合でも同様。)

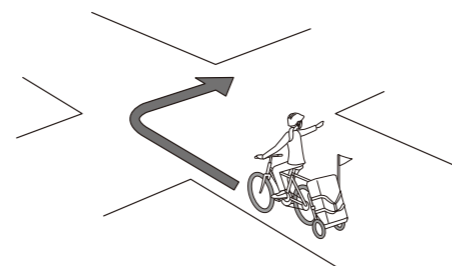
### 3. 交差点の通り方

- 右折の方法  
信号のあるところ。



1. 道路の左側端を信号にしたがって、交差点の向こう側まで真っ直ぐ進む。
2. 止まって右に向きを変える。
3. 前方の信号が青になってから進む。

信号がなく交通整理がおこなわれていないところ。



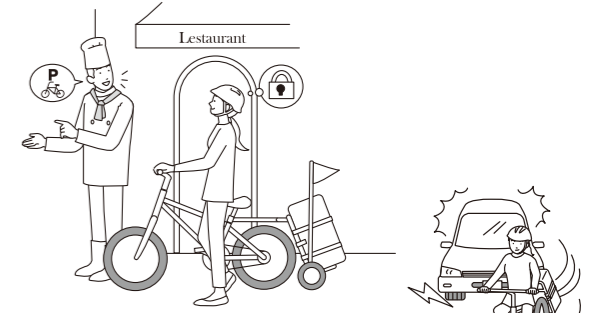
1. 道路の左側端を向こう側まで真っ直ぐ進む。
2. 進行方向へ直角に右へ向きを変える。
3. 進行方向の左側端を進む。



- 道路の中央寄りから右折することは出来ません。
- 直進する自動車やオートバイに充分注意してください。

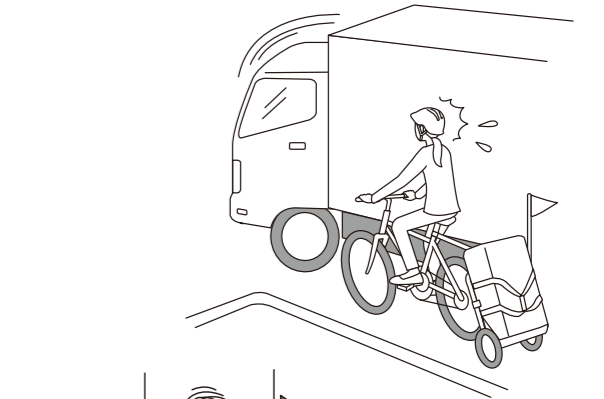
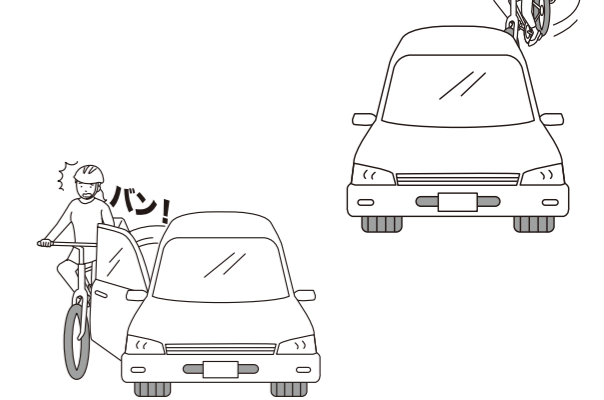
### 4. 駐輪するときのご注意

- 駐輪するときは、歩行者や車の通行の妨げにならないように注意する。また盗難には充分注意する。



### 5. 走行中のご注意

- 自動車のすぐ後ろに続いたり、それにつかまって走らない。
- 自動車が渋滞しているときは、その前に割り込んだり、車の間をぬって前へ出ない。
- 他車と並んで走ったり、ジグザグ運転をしたり、競争をしない。
- 横断、転回する場合は、歩行者や車に充分注意し、見通しのきくところで歩行者や車のとぎれたときに安全を確認してからおこなう。
- 停まっている自動車のそばを通るときは、急にドアが開いたり、影から歩行者がとびだしたりする可能性があるため注意する。
- 交差点近くでは、左折自動車に巻き込まれないように注意する。
- 一時停止の標識のあるところや狭い道から広い道へ出るときは、一時停止して安全を確認する。
- 自転車に乗るときは、運転者から見やすいように明るい目立つ色の衣服を着る。
- 路面の凍結や工事中の鉄板ですべりやすいところ・風雨・雪の強いとき、視界が悪いときは自転車を押して歩く。
- 走りながら携帯電話やスマートフォンを使用しない。
- 夜間はもちろん、昼間でもトンネルや濃霧の中などは前照灯をつけて走行する。





## 9. 組立て方・取付け方

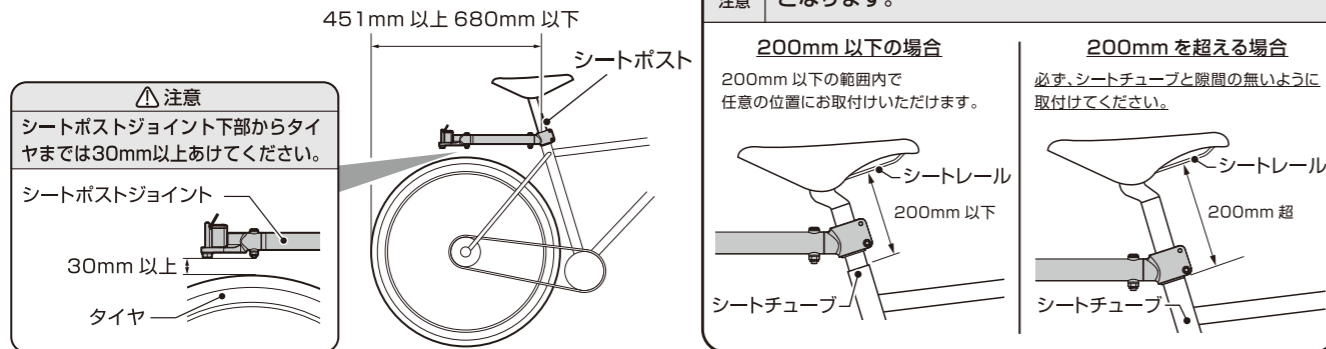
### 1 シートポストジョイントの取付け

#### ■取付け前の確認と準備

シートポストジョイントの取付け位置からタイヤの後ろ端までの距離を確認してください。

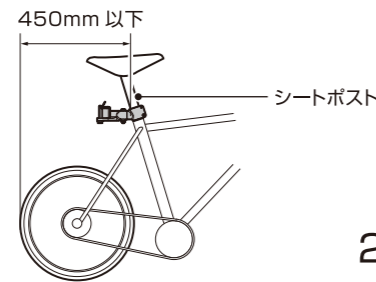
シートポストジョイントの取付け位置からタイヤの後ろ端までの距離が 451mm 以上 680mm 以下の場合  
(目安: 20 インチサイズ以上)

**A タイプ** ・本体セットのままで取付けてください。

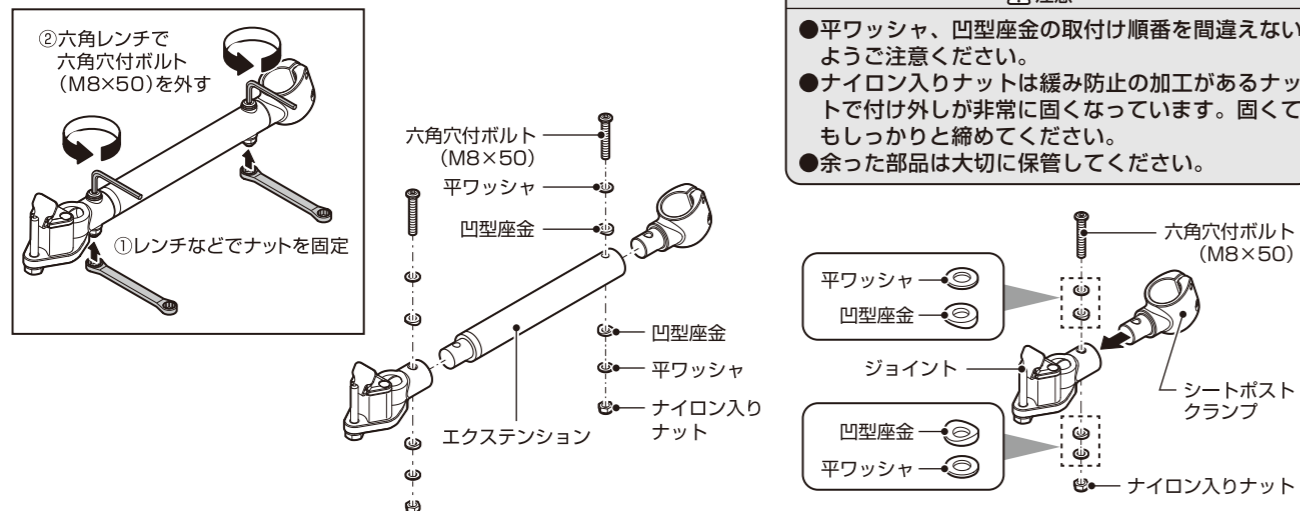


シートポストジョイントの取付け位置からタイヤの後ろ端までの距離が 450mm 以下の場合  
(目安: 18 インチサイズ以下)

**B タイプ** ・本体セットからエクステンションを外し、全長を短くして取付けてください。



1. 六角穴付ボルト、平ワッシャ、凹型座金、ナイロン入りナットを外して、エクステンションを取外してください。

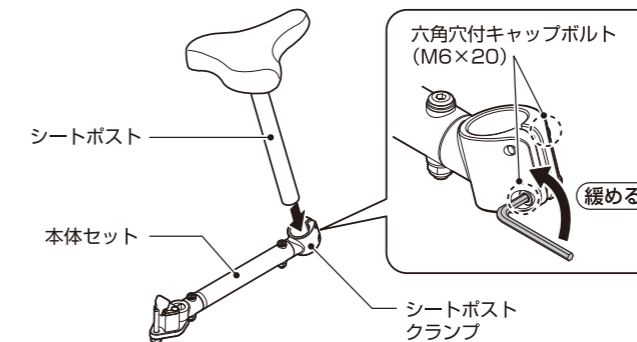


2. 外した六角穴付ボルト(M8×50)、平ワッシャ、凹型座金、ナイロン入りナットで、ジョイントとシートポストクランプを取付けてください。  
(締付けトルク: 12.5Nm)

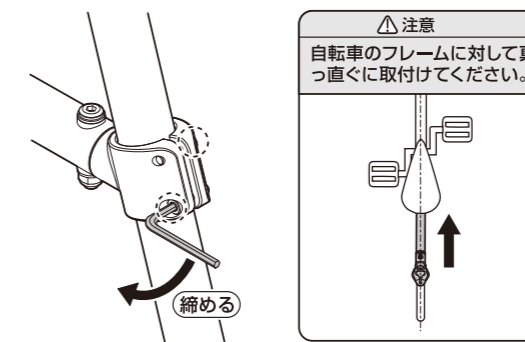
### ■シートポストジョイント本体セットの取付け

(ここからはAタイプで説明します。Bタイプも同じ方法です。)

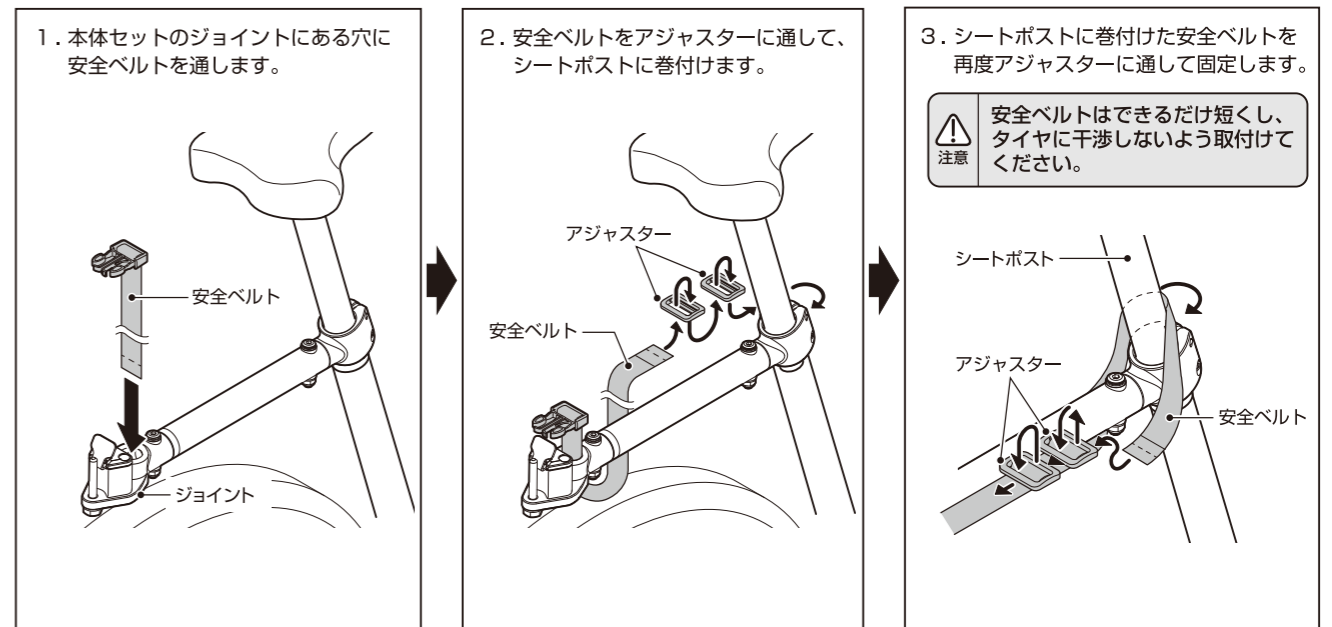
1. 本体セットのシートポストクランプの六角穴付キャップボルト(M6×20)を2箇所とも緩めます。
2. シートポストを自転車から外して、本体セットのシートポストクランプに差込みます。



3. シートポストを自転車に取付けて、シートポストクランプの六角穴付キャップボルトキャップボルト(M6×20)を2箇所ともを締めてください。(締付けトルク: 6 ~ 7Nm)



4. 安全ベルトで本体セットをシートポストに固定します。

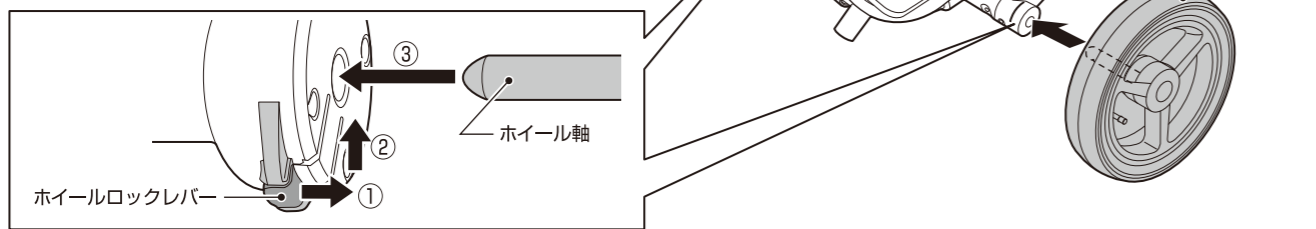


## 2 本体の組立て

### ■ホイールの取付け

ホイールロックレバーを横に移動させながら押し込み、ホイール軸を奥までしっかりと差込みます。

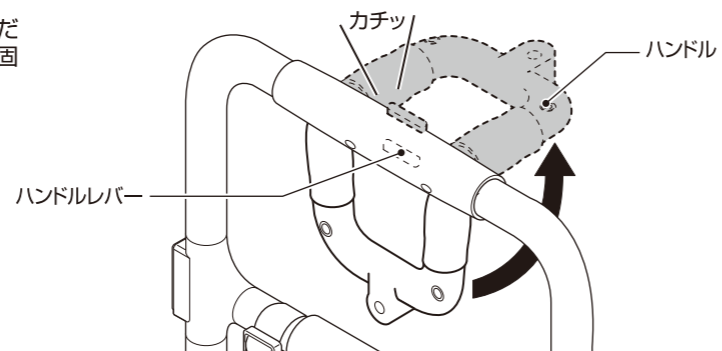
**注意** ホイールがしっかりと差し込まれているか、よく確認してください。



### ■ハンドルの回転

ハンドルレバーを押しながらハンドルを回転してください。ハンドルレバーを放すと「カチッ」と音が鳴り固定されます。

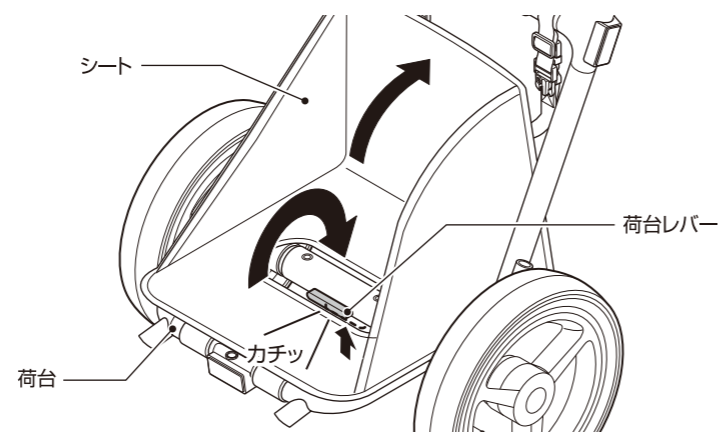
**注意** ハンドルレバーが固いときは、ハンドルレバーを軽く押しながら、ハンドルを前後に少し回すと改善されます。



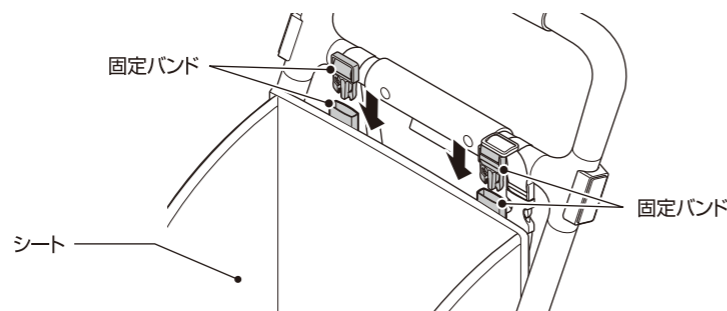
### ■荷台の準備

1. シートを広げて、荷台レバーを押しながら荷台を回転してください。荷台レバーを放すと「カチッ」と音が鳴り固定されます。

**注意** 荷台レバーが固いときは、荷台レバーを軽く押しながら、ハンドルを前後に少し回すと改善されます。



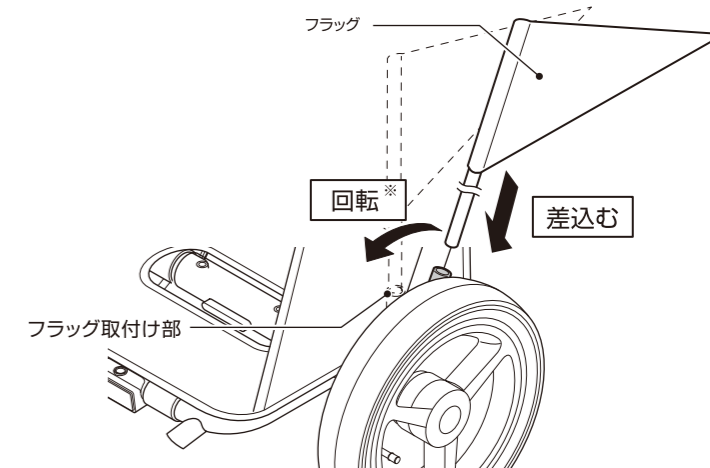
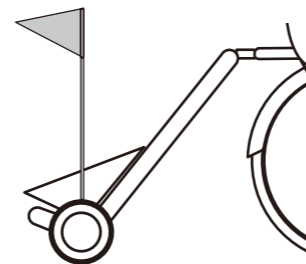
2. 固定バンドを留めてシートを固定してください。



### ■フラッグの取付け

フラッグをフラッグの取付け部に差し込んで回転させてください。

**注意** 走行時はフラッグを取付ける付属のフラッグを立てて走行してください。自動車のドライバーからサイクリストレーラーが見えない危険性があります。フラッグを立てて存在をアピールするようにしてください。

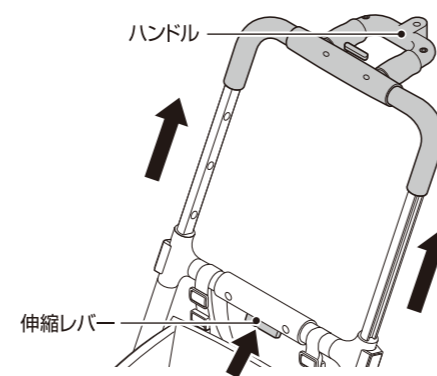


※フラッグの転倒防止のため回転させるときは操作が固くなっています。

## 3 シートポストジョイントへの取付け

### ■ハンドルの高さ調節

伸縮レバーを押しながら、ハンドルを引き上げてください。自転車のシートポストジョイントの高さに合うよう調節してください。

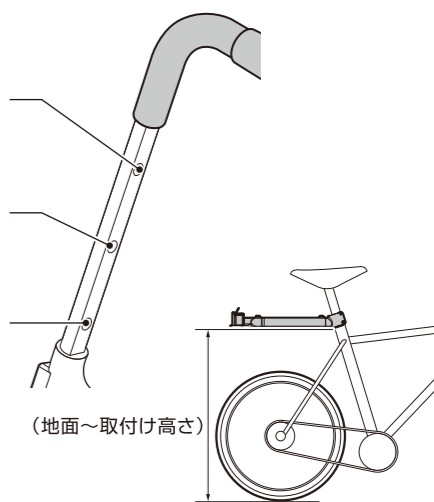


### 高さの目安

20型以下  
(地面～取付け高さ  
約730mm)

22型～24型  
(地面～取付け高さ  
約780mm)

26型以上  
(地面～取付け高さ  
約830mm)

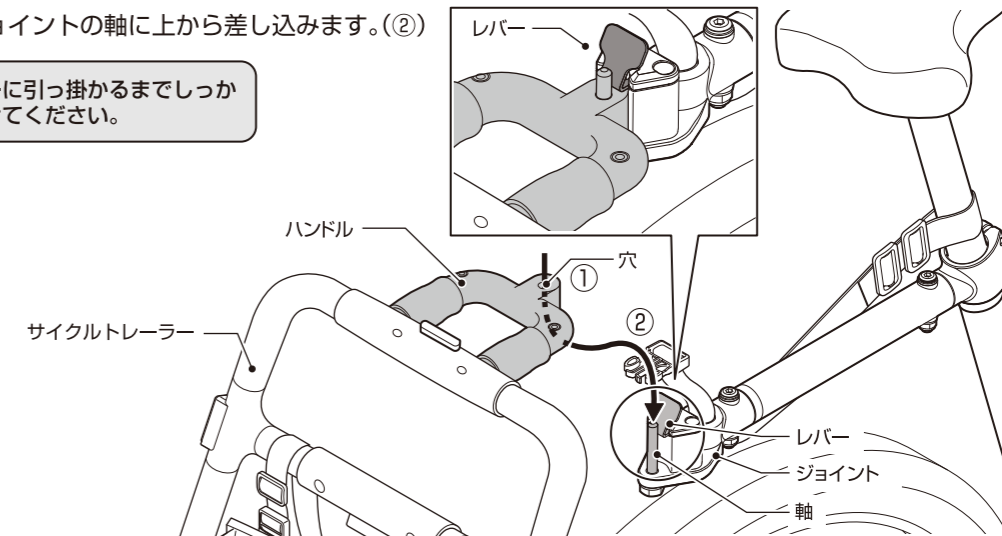


### ■ハンドルの取付け

1. サイクリストレーラーをシートポストジョイントセットのジョイントに取付けます。

ハンドルの穴①をジョイントの軸に上から差し込みます。(2)

**注意** ジョイントのレバーに引っ掛かるまでしっかり押し込んで取付けてください。



## ■安全ベルトの取付け

### 2. 安全ベルトで固定します。

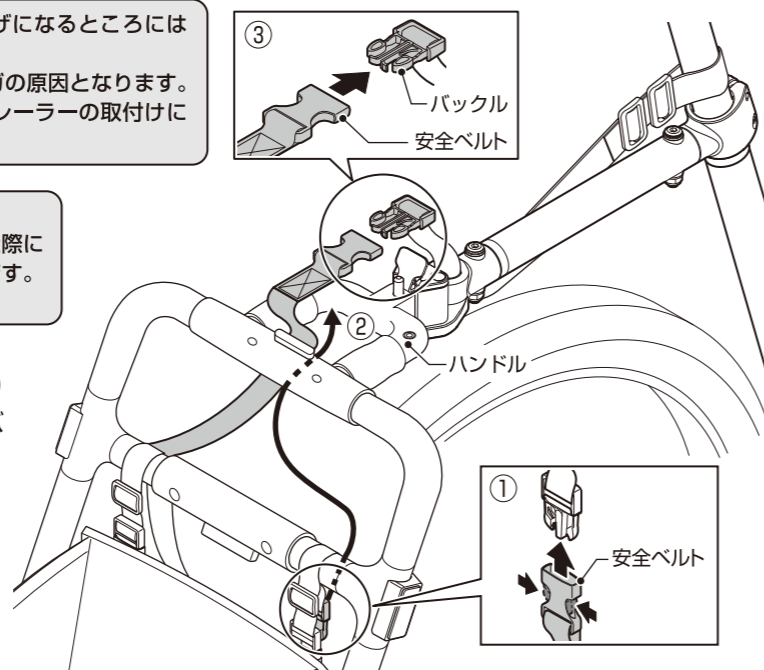


- 車輪・ハンドル・ペダルなど、走行の妨げになるところには取付けしないでください。
- 使用中に外れたり落下すると、事故やケガの原因となります。シートポストジョイント及びサイクルトレーラーの取付けにゆりみがないか確認してください。



**安全ベルトは必ず取付ける**  
安全ベルトは万一連結部が破損して分離した際にサイクルトレーラーの落下を防止するものです。安全のため必ずご使用ください。

サイクルトレーラーの安全ベルトを外し ①  
ハンドルの中を通して ② ジョイント側のバ  
ックルに取付けてください。③

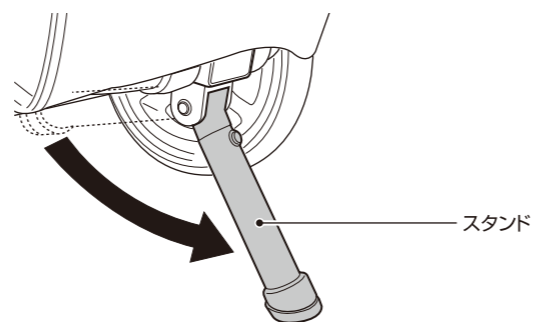


## 10. スタンドの立て方

スタンドを引き出して、本体を自立させます。



自転車から外して荷物を置く時は、必ずスタンドを立ててください。本体が倒れる恐れがあり危険です。

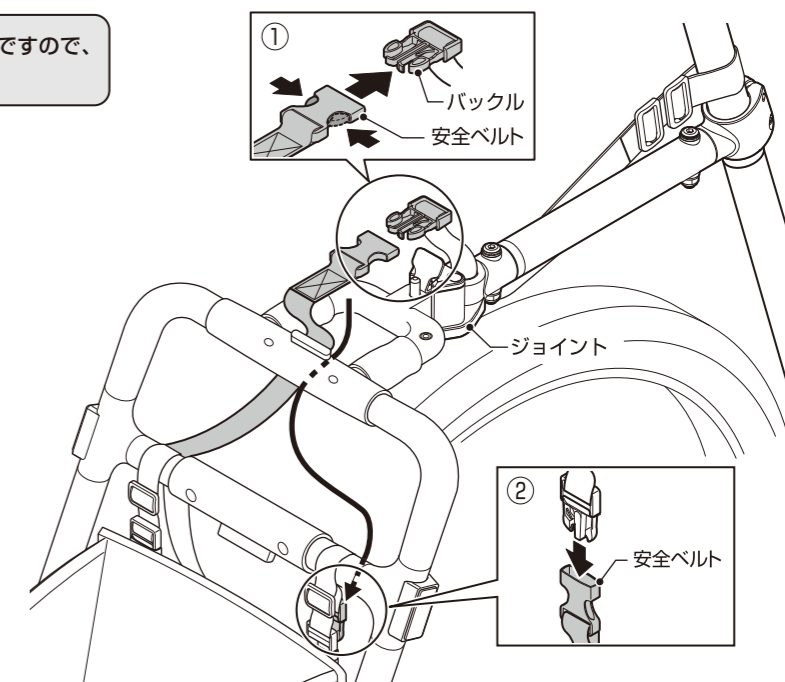


## 11. サイクルトレーラーの外し方

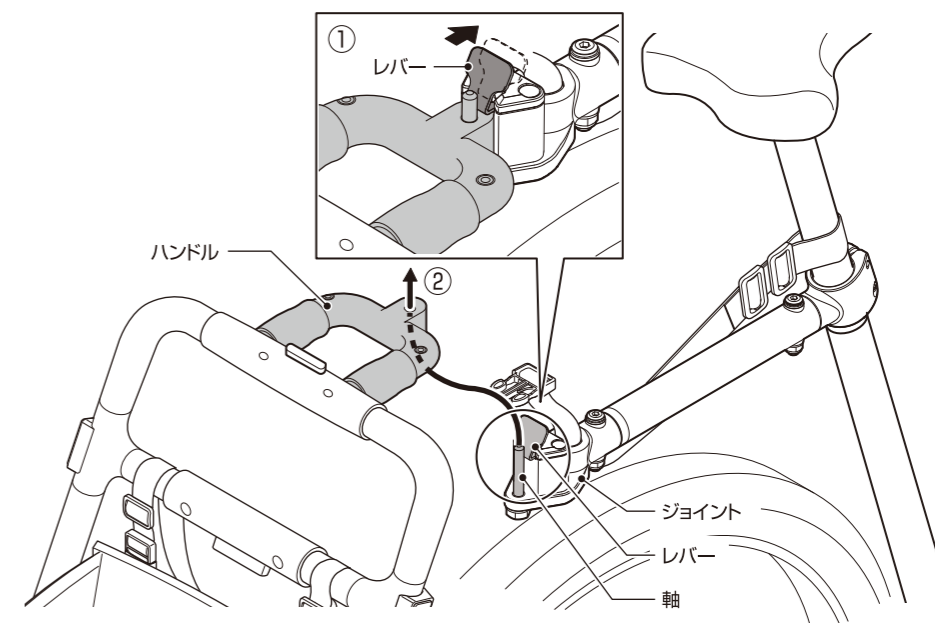
### 1. 安全ベルトをジョイントのバックルから外して①サイクルトレーラーの安全ベルトに固定してください②。



安全ベルトを外したまま使用すると危険ですので、必ず本体に固定してください。



### 2. ジョイントのレバーを押して①、軸からハンドルを取外します②。

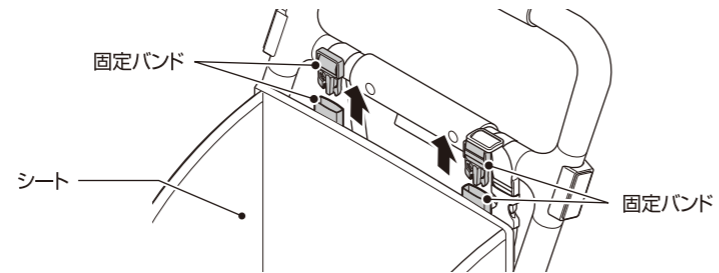


## 12. 使い方

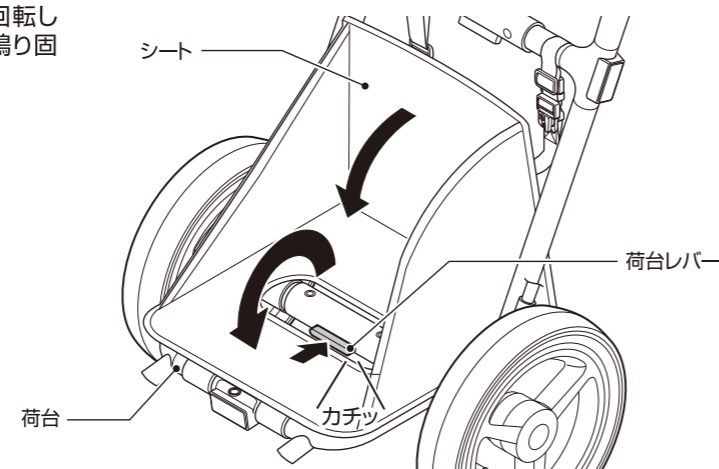
### 1 収納について

#### ■シートの収納

1. 固定バンドを外します。

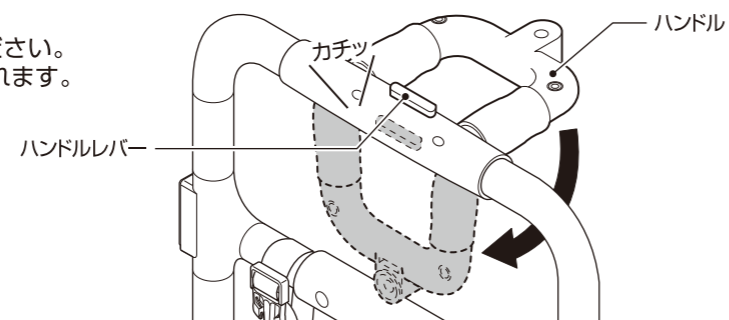


2. シートをたたんで荷台レバーを押しながら荷台を回転してください。荷台レバーを放すと「カチッ」と音が鳴り固定されます。



#### ■ハンドルの収納

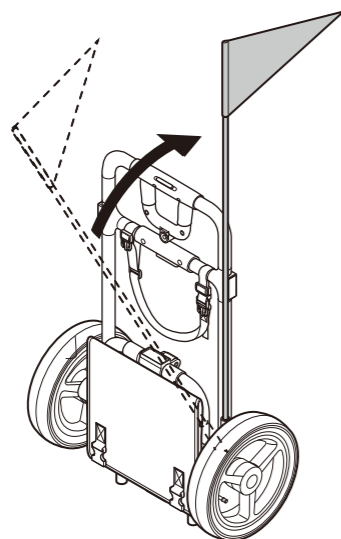
ハンドルレバーを押しながらハンドルを回転してください。ハンドルレバーを放すと「カチッ」と音が鳴り固定されます。



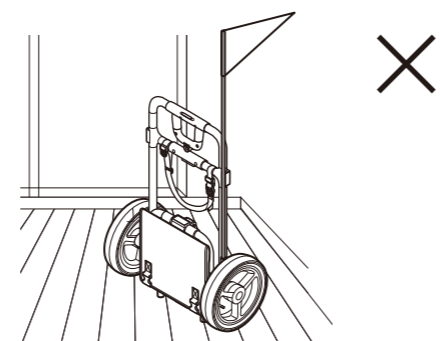
**注意** ハンドルを回転した時に手を挟まないように注意してください。

#### ■フラッグの収納

フラッグを起こします。



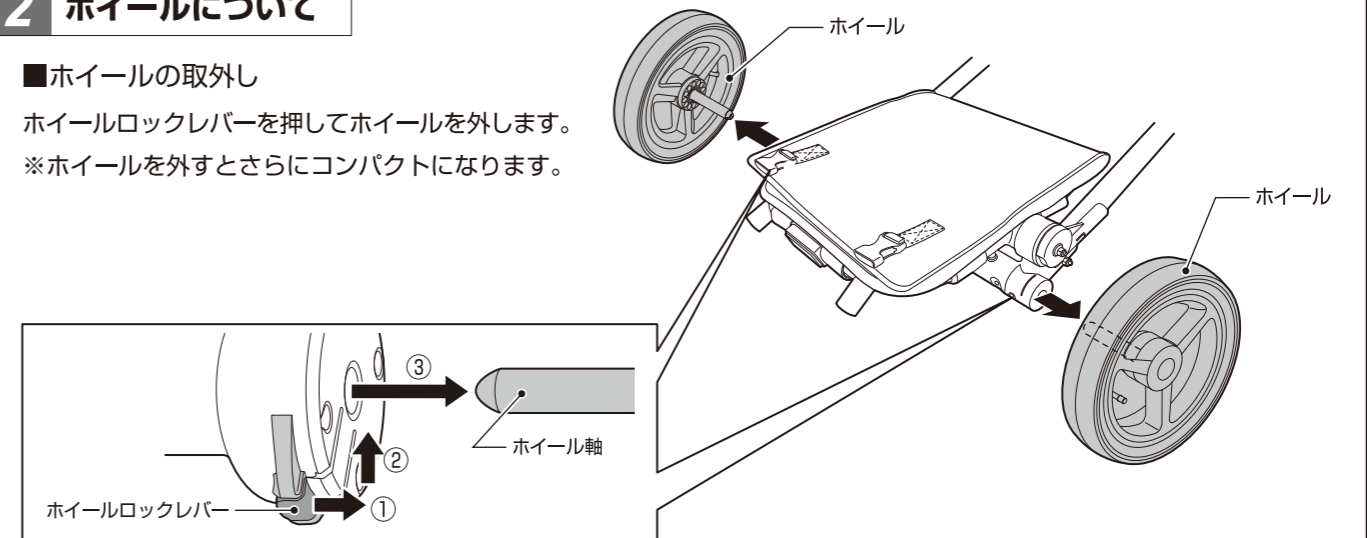
**注意** フローリングやクッションフロア、タイルなどの上に直接置かない  
タイヤのゴムには、硫黄や油分などが配合されており、この成分がフローリングなどの表面の塗膜と化学反応を起こしてタイヤの色がフローリングなどに移ってしまうことがあります。



### 2 ホイールについて

#### ■ホイールの取外し

ホイールロックレバーを押してホイールを外します。  
※ホイールを外すとさらにコンパクトになります。



#### ■空気入れ

サイクルトレーラーのバルブは米式です。変換バルブを使用することで一般のご家庭にある英式バルブの空気入れでもご使用いただけます。

空気圧：28psi(2kg/cm<sup>2</sup>)



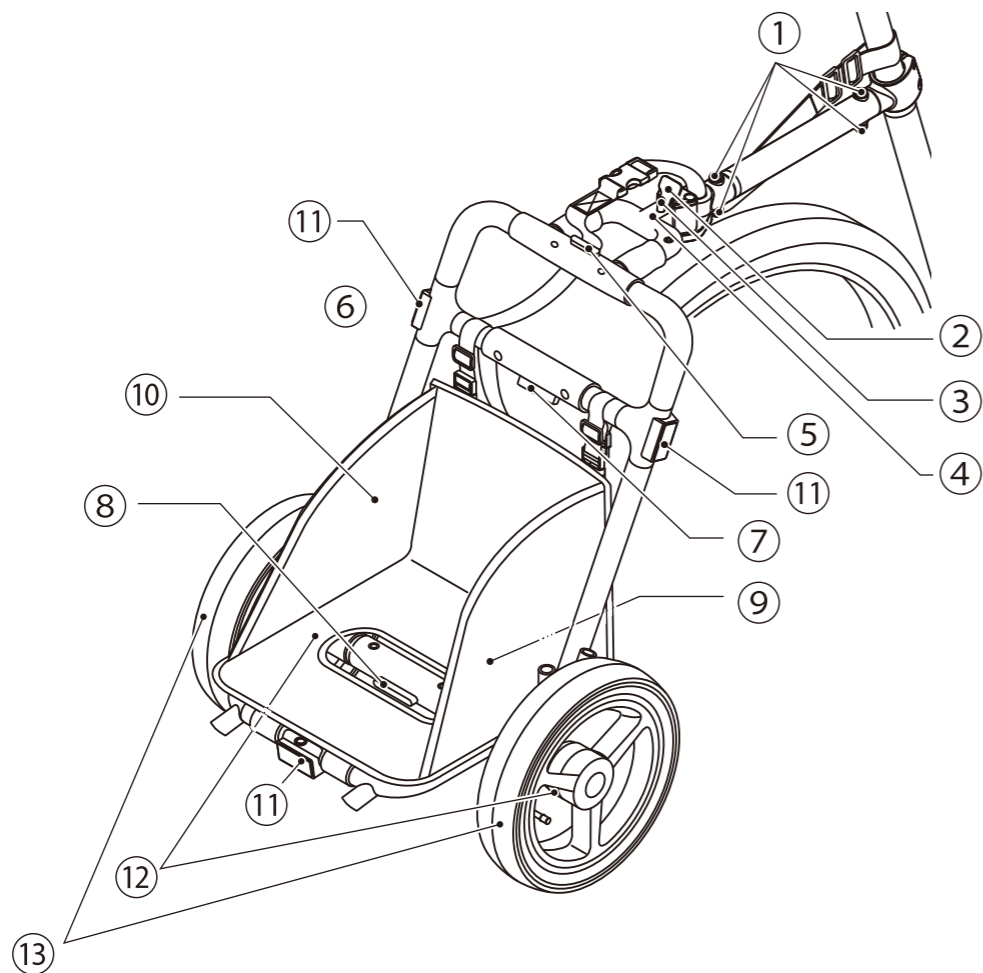
## 13. お手入れ方法

- 本体やシート部のヨゴレは、タオルかスポンジに中性洗剤を含ませて拭き取ってください。拭き取った後は乾いた布で水分を取り除いてください。水などがかった場合は、乾いた布で水分を取り除いてください。
- 火気や直射日光を避け、湿気が少なく高温にならない場所で保管してください。
- 使用後はヨゴレを落として、乾燥させてください。濡れたまま保管すると色移りやカビ・腐食の原因となります。
- お子さまの手の届かないところに保管してください。

## 14. チェックシート

安全のため、運転前はもちろん、強い衝撃を受けたときには必ず点検を行ってください。異常が認められる場合は販売店にご相談ください。

点検の箇所	点検項目
シートポストジョイント	① シートポストジョイントの固定ネジに緩みがなく、しっかりと取付けられているか。
	② シートポストジョイントのレバーの作動がスムーズであるか。
	③ シートポストジョイントの軸に緩みやガタツキはないか。
ハンドル	④ ハンドルとシートポストジョイントの接合部分に破損や、変形はないか。
	⑤ ハンドルレバーが正しく作動し、固定位置でしっかりと止まるか。
本体	⑥ 本体の各部に破損や変形などの異常はないか。
	⑦ 伸縮レバーが正しく作動し、固定位置でしっかりと止まるか。
	⑧ 荷台レバーが正しく作動し、固定位置でしっかりと止まるか。
	⑨ スタンドが正しく作動し、固定位置でしっかりと止まるか。
	⑩ シートが本体にしっかりと取付けられているか。
	⑪ リフレクターに著しいヨゴレや破損はないか。
ホイール	⑫ ホイールが本体にしっかりと固定されているか。
	⑬ タイヤの空気圧は28psi(2kg/cm <sup>2</sup> )を超えていないか。



## 15. 品質保証書

■本品の品質保証期間は1年です。正常な使用状態において万一故障した場合は、ご購入日より1年間無償で修理をさせていただきます。ご購入の際の、販売店の領収書(レシート)がご購入日の証明となりますので、大切に保管をお願いいたします。

■故障の際はお買上げの販売店、または弊社へ本保証書を添えてご相談ください。(販売店にご持参いただく際の交通費等の諸費用は、お客様にてご負担願います)

### 【品質保証規定】

#### 保証の適用除外

- 製品の故障に起因する付随的損害(営利的使用に関する諸費用、使用により得られる利益の損失等)については保証できません。
- 本保証において、弊社のお客様への保証手段は、弊社の選択による製品の修理、または交換に限られるものとします。本品が製造中止となった場合等には、他の同等品をご案内させていただく場合があります。
- 修理交換において保証期間の延長はございませんので、予めご了承ください。
- 本保証書は再発行しませんので、大切に保管してください。
- 本保証書は、本書に明示した期間、条件に基づき保証修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本保証書に示す条件以外の費用等。
- 上記以外に取付取扱説明書に記載の警告・注意事項に反した使用をされたとき。

次に示すものに起因する故障は保証修理の対象となりません。(使用者負担になります。)

- ア. 品質保証書のご提示のない場合、または領収書(レシート)がない場合。
- イ. 通常のご使用による表面的な損傷(ホイール、ファスナー、ハンドル等の摩耗、すり傷、退色等)
- ウ. 取付けしている自転車等の損傷や保証。
- エ. 使用者の誤ったご使用、及び不当な修理や改造による場合。
- オ. 輸送上の故障、移動、落下等による故障。
- カ. 衝突、転倒、道路の段差等に乗り上げ、または溝等に落ちて生じたもの。
- キ. 法令の違反行為によって生じたもの(最大積載荷重オーバー等)。
- ク. 使用方法の間違いにより生じたもの。
- ケ. ハンドル、ホイール部分などの経年劣化、経年使用による損壊、摩耗。
- コ. 使用者が構造、機能を改造または変更したため生じたもの。
- サ. 戦争・暴動・騒じょう・地震・噴火・水災(台風、洪水、豪雨、津波など)・落雷、火災、水害、公害、盗難  
その他人災、天災、地変によって生じた損壊。
- シ. 酷使または一般的に歩行したり自転車が走行しない場所での使用(道のない山岳ツーリング、道のない土手の傾斜、アクロバット、曲芸等)により生じたもの。
- ス. レンタルなど不特定多数で使用される場合。
- セ. 手入れ不十分、保管場所の不備及び時の経過により生じた塗装面その他これに類する不具合及びプラスチック部品等の自然退色。

- ソ. 高熱、高温、溶剤、酸、塩分、過度の衝撃や負荷による変形や破損。
- タ. 部品の通常の摩耗または疲労と認められたもの(ハンドル、タイヤ、チューブ、ブレーキ用ゴム等のゴム類)。
- チ. くぎ、ピン、ガラス、切削くず、鋭利な石ころ等で生じるパンク。
- ツ. 積載物の損傷、汚損、紛失。
- テ. 一般に機能上影響のない感覚的現象(音、振動等)。
- ト. 使用不能や機会損失等に付随する費用に関する損害。
- ナ. 盗難、置き忘れ、紛失。

### 【保証修理を受けるための条件及び手続き】

保証修理を受けるためには次の事項をご了承願います。

#### 1. 購入証明について

- お買上げの販売店にて、ご購入時の領収書またはレシートをお受取りください。オンラインストアでご購入された方は、納品書等がご購入の証明となりますので、大切に保管してください。領収書またはレシートなどの購入証明の添付のいずれもない場合や、正規販売店以外でのご購入の場合は保証対象外となります。
- 保証修理を受ける場合、本保証書と製品をご持参ください。
- 本保証書の提示がないと保証修理は受けられません。また、本保証書の字句等を変えた場合は無効となります。
- ご贈答、転居及び他に譲渡する場合にはお買上げの販売店にご相談ください。
- 本保証書は日本国内で使用される場合のみ適用されます。海外に持ち出す場合は、その時点で無効となります。
- 保証修理に関するお問合せは、お買上げの販売店、または弊社へご相談ください。
- 修理に関して出張修理の依頼を受けた時は、出張費を請求する場合があります。


#### 2. 保証対象外部品(次に示すものの交換修理は、使用者負担となります)

- 磨耗品及び疲労品、使用者がご自分で取付けた部品。

オージーケー技研株式会社 電話：06-6782-4353(代) 受付時間 午前9時～午後5時 月曜日～金曜日(※祝日除く)

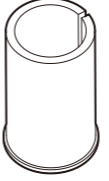
## 16. 補修部品

OGK 製品の取扱店でお求めください。ご相談や修理はお買上げの販売店へお声がけください。

ご注文の際には、 内の部品番号とお色もあわせてお知らせください。

お値段やお取扱い品につきましては、各店頭にてご確認くださいませよう願いたします。

(※流通の都合上、お取り扱いのできない店舗様もございます。予めご了承ください。)

補修用CT-001 タイヤ・ホイールセット 46CTZ002  (1個)	補修用CT-001 変換バルブ 46CTZ120 	補修用CT-001 フラッグ 46CTZ226 
補修用CT-001 シート 黒 46CTZ502 	補修用CT-006 安全ベルト 46CTZH02 	補修用CT-001 荷台リフレクター (赤) 46CTZ703 
補修用CT-001 サイドリフレクター (オレンジ) 46CTZ826  (1個)	補修用CT-006 キャップボルト (M6×20) 46CTZA02  (1個)	補修用CT-006 エクステンションネジセット 46CTZB02  (1セット)
補修用CT-006 シートポストシム (22.7mm) 46CTZG02 		

## ご使用前の確認証

●販売店の方は下記内容をお客様にご説明いただき、確認後□欄にチェックマーク✓を入れてください。

ご説明内容	チェック
●走行・ご使用の際は、必ず利用者の責任で道路交通法及び各自治体の条例・公安委員会の定める規則の確認と遵守を行ってください。 サイクルトレーラーを取付けた自転車は、道路交通法上の「軽車両」に分類され、普通自転車には当たりません。法令に従った走行をお願いします。	<input type="checkbox"/>
●車道走行をお願いいたします。(歩道の走行は道路交通法で禁止されています) 駐停車や施設等の出入りのため横断する場合等を除き、歩道は走行できず、例えば「自転車通行可」や「自転車通行帯」と区分されている歩道であっても走行できません。車道の左側端、路側帯を走行してください。けん引しながら歩道や自転車専用道路を押し歩きもできません。	<input type="checkbox"/>
●走行場所にご注意ください。 道路標識は「軽車両」の指示に従い走行してください。特に、幹線道路の高架などは、「自転車・リヤカー不可」という標識が掲げられていることがあるため、ご注意ください。	<input type="checkbox"/>
●交差点での右折の場合には「二段階右折」が必要です。 道路交通法では「軽車両」となりますので右側を走行すると逆走(道路交通法で禁止されています)となります。	<input type="checkbox"/>
●カーブにご注意ください。 普通自転車の感覚で交差点を曲がると内側にトレーラーを引っ掛けてしまう場合があります。少し大回りを意識するとスムーズな走行が可能です。また、交差点でスピードを出しすぎるとトレーラーが外側に振られてしまう場合があります。歩く程度の速度まで減速し、ゆっくりと交差点を曲がるようにしましょう。	<input type="checkbox"/>
●走行時はフラッグの取付けをお願いいたします。 必ず付属のフラッグを立てて走行をしてください。 自動車のドライバーからサイクルトレーラーが見えない危険性があります。フラッグを立てて存在をアピールするようにしてください。	<input type="checkbox"/>
●運転に慣れるまでは、安全な広い場所で練習してください。 乗り降りや取付け、取外しも同様に練習していただき、余裕を持った運転をお願いします。	<input type="checkbox"/>
●けん引時は後退ができません。 駐輪場からの出し入れなど後退が必要な場合は、一度自転車から取り外し自転車を移動してから取付け走行してください。	<input type="checkbox"/>
●荷物の運搬以外に使用しないでください。 踏み台や椅子の代わりにしたり、人や動物を乗せたりしないでください。ケガ、破損や事故の恐れがあり危険です。	<input type="checkbox"/>
●自転車以外への取付けを行わないでください。 自転車以外へ取付けての使用は想定していません。ケガ・破損や事故の恐れがあり危険です。	<input type="checkbox"/>

上記内容について確認いたしました。

年 月 日

ご購入者様名：

店舗様名：

